

2026 年度事業計画

I. 基本方針

本年度の当センターの事業運営については、資格認定事業を円滑かつ確実に実施するとともに、2024 年度から開始した「品質管理責任者講習会」については、海外ファブ向けの対応も開始する。

事業実施に要する諸費用（会議室室料、運送費、印刷費、交通費等）は上昇が続いており、各事業の運営にあたっては経費削減に努めていく。

また、昨今目覚ましい進歩を遂げる A I 技術等を活用した業務効率化を検討する。

1. 資格認定事業

昨年度と同様に講習会・試験等を実施する。建築鉄骨検査技術者の継続講習は、講習動画視聴による課題提出方式を今年度も継続する。

新規受験者が増加傾向の資格認定事業がある中で、業務効率化を進めて行く。

2. 教育事業

鉄骨ファブの品質管理責任者を対象とした「品質管理責任者講習会」について、昨年度までで概ね性能評価申請工場が受講したため、今年度は規模を縮小して実施するとともに、今年度から海外ファブ対応を実施する。

また、鉄骨技術者の育成という社会的使命に応えるべく、ファブの教育ニーズを見極め、新たな講習を検討する。

II. 資格認定等事業

1. 鉄骨製作管理技術者

※資格の有効期間は原則 5 年であり、資格更新は次のとおり行う。

資格新規取得→（5 年後）更新講習→（10 年後）更新講習
→（15 年後以降 5 年毎）書類審査

(1) 試験

新規の資格取得希望者を対象に、学科試験を実施する。

※（ ）内数字は前年度計画（以下同じ）

	1 級	2 級
試験日	2026 年 10 月 17 日（土）	
開催地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、高松、福岡）	
予想受験者数	1,600 (1,120)名	700(650)名

(2) 更新

① 更新講習

2027 年 3 月 31 日で資格取得後 5 年（更新 1 回目）及び 10 年（更新 2 回目）を経過する者を対象に、更新講習会を実施する。

	1 級	2 級
実施期間	2026 年 6 月～8 月	
開催地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡）	
対象者数	更新 1 回目； 735 (771)名 更新 2 回目； 634 (802)名 合計； 1,369 (1,573)名	更新 1 回目； 553 (650)名 更新 2 回目； 344 (371)名 合計； 897 (1,021)名
予定者数	更新 1 回目； 588 (620)名 更新 2 回目； 535 (678)名 合計； 1,123(1,298)名	更新 1 回目； 243 (294)名 更新 2 回目； 188 (197)名 合計； 431 (491)名
	・資格取得後、1 回目の更新講習は、講義及び修了考査とする。 ・資格取得後、2 回目の更新講習は、講義及び論文とする。	

② 書類審査

2027 年 3 月 31 日で資格取得後 15 年（更新 3 回目）以上を経過し有効期間が満了する者を対象に、更新書類審査を実施する。

	1 級	2 級
実施期間	2026 年 7 月～8 月	
対象者数	1,871(748)名	855(296)名
予定者数	1,290(462)名	508 (154)名
	・更新書類審査は実務経歴書による書類審査を基本とするが、当該年度に開催される更新講習（講義のみ）を受講することにより更新書類審査を合格とすることができる。	

(3) 認定登録

試験合格者、更新講習修了者及び書類審査合格者を認定登録し、2027 年 4 月 1 日付けの登録証を発行する。

予定者数	1 級	2 級
新 規	960 (690)名	490 (425)名
更 新	2,410 (1,752)名	940 (644)名
更新講習	1,120(1,290)名	430 (490)名
書類審査	1,290 (462)名	510 (154)名
合 計	3,370(2,442)名	1,430 (1,069)名

2. 建築鉄骨製品検査技術者・建築鉄骨超音波検査技術者

※資格の有効期間は原則 5 年であり、資格継続・更新は次のとおり行う。

資格新規取得→（5 年後）継続→（10 年後）更新→（15 年後）継続→（20 年後）更新
…以降同様

(1) 新規

新規の資格取得希望者を対象に、学科試験及び実技試験を実施する。

①学科試験

※（）内数字は前年度計画（以下同じ）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
試 験 日	2026 年 6 月 27 日（土）	
開 催 地	8 会場（札幌、仙台、東京、金沢、 名古屋、大阪、広島、福岡）	6 会場（仙台、東京、金沢、 名古屋、大阪、福岡）
予定者数	850 (915)名	275(325)名

②実技試験

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2026 年 8 月～12 月	2026 年 9 月～11 月
開 催 地	8 会場（札幌、多賀城、川崎、 金沢、名古屋、大阪、広島、福岡）	3 会場（川崎、大阪、福岡）
予定者数	1,050(1,105)名	235 (320)名

(2) 継続

2027 年 3 月 31 日で資格取得後および資格更新後 5 年を経過する者を対象に、継続講習を実施する。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2027 年 2 月	
実施方式	講習動画視聴によるレポート提出方式	
対象者数	974 (1,212)名	318(423)名
予定者数	780(970)名	274(368)名

(3) 更新

2027 年 3 月 31 日で資格継続後 5 年を経過する者を対象に、更新試験を実施する。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2026 年 8 月～11 月	2026 年 9 月～11 月
開 催 地	8 会場（札幌、多賀城、東京、 金沢、名古屋、大阪、広島、福岡）	5 会場（多賀城、川崎、 名古屋、大阪、福岡）
対象者数	942 (1,196)名	416(607)名
予定者数	763(602)名	279(339)名

(4) 認定登録

実技・更新試験合格者及び継続講習修了者を認定登録し、2027年4月1日付けの登録証を発行する。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新規	590(652)名	162(234)名
継続	780(970)名	274(368)名
更新	662(584)名	240(319)名
合計	2,032(2,206)名	676(921)名

Ⅲ. 教育事業

1. 品質管理責任者講習会

品質管理責任者講習委員会にて講習内容やテキスト・スライド等について確認し、それぞれ次の通り実施する。

(1)国内ファブ向け講習

2025年度の実施状況等をふまえ、次の通り講習会を開催する。

実施方法・時期	2026年11月に講習を開催する。
開催地	2会場（東京、大阪）
予定者数	2会場計200名

(2)海外ファブ向け講習

2026年度から、テキストを学習し課題レポートを提出する方式で実施する。

実施方法・時期	2026年9月までに課題レポートを提出する
予定者数	海外性能評価取得工場45社、計50名

2. 新たな講習の検討

新たな講習を実施するため、WGを設置して検討を進める。

多様化するニーズの中から、必要性・緊急性をふまえた講習を企画する。

以上